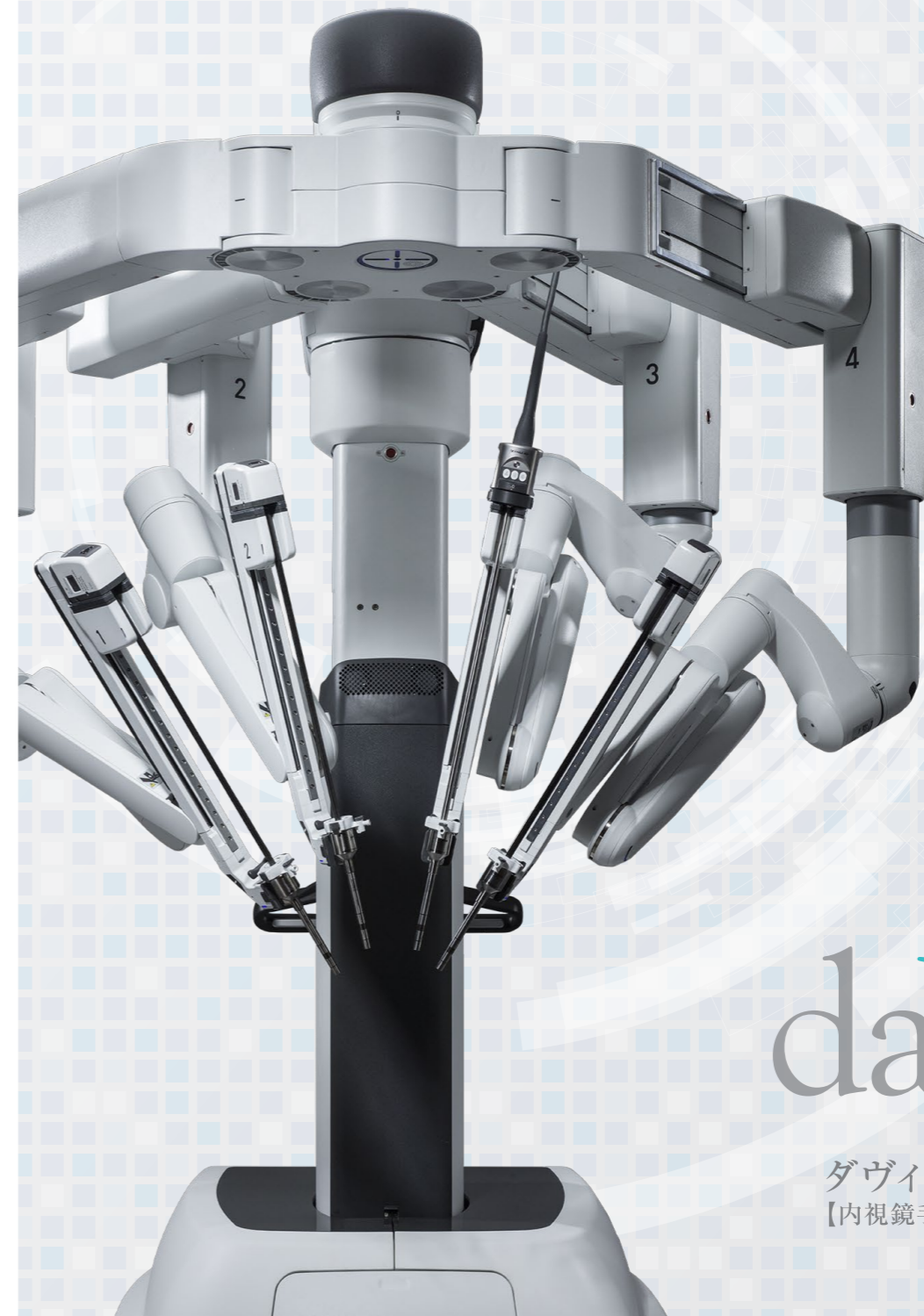


CMiS

Center for Minimally Invasive Surgery

山口大学医学部附属病院
低侵襲手術センター

手術の新時代
体への負担が少ない



2 daVinci Xi 山口県初 2台目導入

2012年に手術支援ロボット「da Vinci」を導入してから11年。2023年4月に山口県内で初めて2台目の「da Vinci」を導入しました。本院が使用している「da Vinci Xi」はロボットアームが4本あり、従来型よりもアームの可動域が広く、アーム同士の干渉が少ないのが特長です。アームの先端に装着した「鉗子(かんし)」には手首のような関節機能があり、これまで以上に緻密な作業を行うことができます。手術を受ける患者さんの体への負担がより少なく、より安心・安全に手術を行うことが可能です。本院では、この「da Vinci」2台体制で、高水準の手術を毎日行っています。

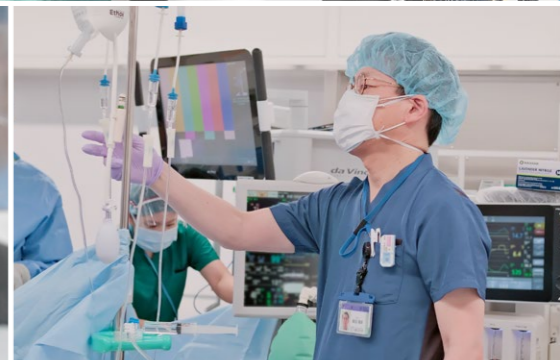


山口大学医学部附属病院
低侵襲手術センター



〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 TEL:0836-22-2111 (代表)

daVinci
Xi
ダヴィンチ
【内視鏡手術支援ロボット】



低侵襲手術センター長挨拶

このたび、ロボット支援下手術をはじめ、腹腔鏡・胸腔鏡下手術などの低侵襲手術の技術向上、安全性の追求および教育・研究を目的とし、低侵襲手術センター（Center for Minimally Invasive Surgery）を設置しました。

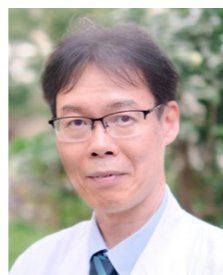
ロボット・鏡視下手術を安全に遂行するには、外科医、麻酔科医、看護師、臨床工学技士、事務職員など、すべての医療スタッフの力を必要とします。低侵襲手術センターは、大学病院特有の診療科ごとの組織構造から脱却し、その壁を越えた横断的なセンターとして、知識や技術の共有とチーム医療を推進してまいります。そして本院で手術を受けられる患者さんにとって理想的な手術方法を常に探究し、満足していただける安心・安全な外科医療を提供できるよう努力していく所存です。

本院は2012年に全国の大学病院に先駆けて内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチS」を導入し、前立腺がん手術を中

心にロボット支援下手術を行ってまいりました。その後、同手術は泌尿器科での適応が拡大し、外科や婦人科領域の疾患へも保険が適用されるようになりました。

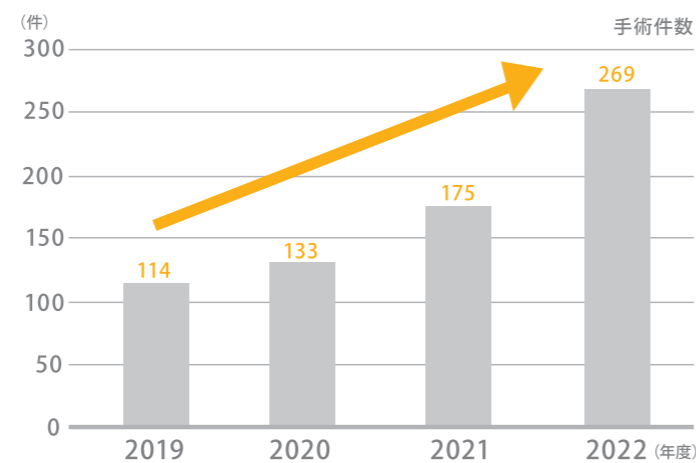
2023年4月、山口県内では初となる2台目のダヴィンチを導入し、現在、多くの診療科において毎日手術を行っています。

高い技術力を兼ね備えた各診療科のスタッフとともに、山口県の外科医療を支え、全国さらには国際的に指導力を発揮する低侵襲手術センターとなるよう万全を尽くしてまいりますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。



低侵襲手術センター長
白石 晃司

ロボット支援下手術診療実績件数



本院で行っている ロボット支援下手術

※各診療科が連携し、協力して治療を行っています。

外科

- 胸腔鏡下手術
 - 拡大胸腺摘出術
 - 縦隔悪性腫瘍手術
 - 良性縦隔腫瘍手術
 - 肺悪性腫瘍手術（肺葉切除術・区域切除術）
 - 食道悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下手術
 - 胃切除術
 - 胃全摘術
 - 直腸切除・切断術
 - 肝切除（肝部分切除・外側区域切除）



田中 俊樹（肺）



原田 栄二郎（直腸）



武田 茂（食道）



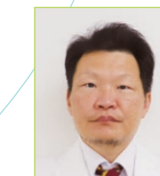
鈴木 伸明（直腸・結腸）



飯田 通久（胃）



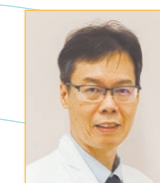
徳光 幸生（肝）



新藤 芳太郎（肺）

泌尿器科

- 腹腔鏡下手術
 - 腎悪性腫瘍手術
 - 腎盂形成手術
 - 膀胱悪性腫瘍手術
 - 前立腺悪性腫瘍手術
 - 仙骨腫固定術



白石 晃司



磯山 直仁



廣吉 俊弥

産科婦人科

- 腹腔鏡下手術
 - 腔式子宮全摘術
 - 子宮悪性腫瘍手術



竹谷 俊明

da Vinci Xi Robot-assisted Surgery

